

日本共産党の竹田えつ子です こんにちはニュース 議会報告

No.172 2022年3月第2週



くらしのご相談事
いつでもお声かけ
ください。

コロナ感染から、子ども達を守ることは市政の大事な役割

鴻巣市の感染者数 「児童、生徒等の生命は、3月6日現在34人、学級閉鎖が引き続き報告されています。」

「緊急の場合に講ずべき措置に関する協議」を

コロナ対策

鴻巣市総合教育会議
「児童、生徒等の生命は、3月6日現在34人、学級閉鎖が引き続き報告されています。」

鴻巣「春のつどい」で訴える



3月6日、鴻巣「春のつどい」で「国際法も国連憲章を踏みにじるロシアの蛮行を許さない、ウクライナに平和を」と訴えました。夏の参議院選挙の立候補予定の顔ぶれを見ると、自民・公明・国民・維新など改憲派であり、非核3原則までなくそうとする勢力に議席を独占させるわけにはいかない、頑張りますと力強く決意を述べました。

5〜11歳のお子さんのワクチン接種について

(議員への情報提供より)

- 対象者数約6,400人(2010年4月2日〜2017年4月1日生11年度末年齢12歳〜6歳)今年度中に5歳になる方には、5歳になった翌月に接種券を発送
- 小児用ファイザー社ワクチンを、3週間の間隔をあけて2回接種(12歳以上用のファイザー社ワクチンとは別のワクチン)
- 小児には努力義務が適用されなかったことから、お子さんやかかりつけ医と相談していただき、接種をするかどうか検討していただくことを周知

鴻巣市のワクチン接種状況 (12歳以上、3月7日時点)

接種対象者数	109,683人	
接種済み		
1回目接種	97,429人	88.8%
2回目接種	96,672人	88.1%
3回目接種	25,950人	23.7%

皆様のご意見・ご要望をお寄せください。要求実現のため一緒に力を合わせていきましょう！
〒365-0031 鴻巣市ひばり野1-30-18 ☎048-542-7072 FAX048-542-7101 携帯090-2553-5215
ホームページ 公式ウェブサイト <http://www.takeda-etsuko.com>



ウクライナ危機 政府は非軍事支援に全力を

食料・防寒着・医薬品提供は急務

日本共産党の小池晃書記局長は7日、国会内で記者会見し、ロシアの侵略を受けているウクライナの国内外の難民が150万人に達している事態に言及し、日本政府は「非軍事の支援に全力を挙げるべきだ」と主張しました。

「難民をはじめウクライナの人々の命と生活を助ける支援物資を送ることが急務になっている」として、食料品、防寒着、テント、医薬品、衛生用品などを早急に送るべきだと強調しました。

また、日本共産党もウクライナ支援のための募金への協力を「赤旗」紙面で呼びかけ、各地で募金活動が開始されていると紹介。

その上で、「憲法9条を持つ日本が、明白な紛争当事国のウクライナに自衛隊の防衛装備品を供与することには反対だ。非軍事の支援に徹するべきだ」と重ねて表明しました。



3月11日・18日・25日(金)

17時から鴻巣駅自由通路

「ロシアは無条件で即時撤退!ウクライナに平和を!」スタンディング・募金活動を行います。
ご一緒に声を上げていきましょう

鴻巣駅東口トイレ改修される

こんにちはニュースN0162でお知らせした、鴻巣駅東口の男子トイレが改修されました。

また、多目的トイレのベビーベットのカバーも取り替えられました。



「ロシアによるウクライナへの侵攻に強く抗議し、攻撃の即時停止を求める決議」

鴻巣市議会全会派一致で決議

3月2日の本会議で決議された内容は、「2月24日、ロシアはウクライナに対して軍事侵攻を行い、同国都市への兵器による攻撃、国民への武力行使など、甚大な被害を与えている。

本行為は、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する明白な国際法・国連憲章違反であり、断じて容認することはできない。

鴻巣市議会は、今回のロシアによるウクライナへの侵攻に強く抗議し、ロシア軍の即時撤収と、国際法の遵守を強く求める。

また、政府においては、ロシアに対し攻撃の即時停止を求めること、国際社会と連携した情報収集を積極的に行うとともに、邦人の確実な保護や我が国への影響対策について万全を尽くすよう求める」